

平成 15 年度 研究発表会 開催報告

第 4 回農林水産環境展（EFAFF2003）併催催事「第 4 回農林水産環境シンポジウム」（会場：日本コンベンションセンター国際会議場）の一環として、平成 15 年 11 月 25 日（火）に、平成 15 年度研究発表会が開催されました。この発表会は、農業農村を中心とする水やバイオマス等有機資源の利活用・循環にかかる技術の発展及び部会員間の学術交流に寄与することを目的として、平成 15 年 5 月設立された本研究部会が主催する初めての研究発表会であり、会場となった幕張メッセ国際会議室には、延べ 221 名の聴講者が参加しました。参加者の内訳は、国・地方公共団体や各県土地連の方が 72 名、民間企業から 95 名、大学・研究機関から 17 名で団体・その他から 37 名でした。

冒頭あいさつで高橋部会長は、日本の食糧自給率の問題に言及しつつ、資源循環の重要性について述べた後、農業土木学において資源循環研究に取り組む部会が創設されたことは、時宜を得たものであると評し、今後の一層の発展への期待を表明しました。また、第一回目から水準の高い発表が集まったことを評価するとともに、民間企業からの応募が多くあったことに関連して、循環型社会の実現は、産・官の連携や協力をもって達成すべきとの考えを述べました。

部会長あいさつに続いて、一般発表として 14 編の研究発表が行なわれました。



また、一般発表を終えた後、全発表課題の中から最優秀の一編を研究部会幹事が選考し、資源循環研究部会長賞が授与されました。本年度の部会長賞は「ヨシを植栽した人工湿地による農業集落排水施設処理水の浄化試験」を発表した、（社）日本農業集落排水協会の島津久樹さんが受賞することとなり、研究部会幹事の増島博 東京農業大学客員教授から賞状と副賞が手渡されました。

